
私に恋は、出来ますか？

三島 愛美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私に恋は、出来ますか？

【Nコード】

N5890L

【作者名】

三島 愛美

【あらすじ】

6月に、【南野澤島小学校】に引っ越してきた優菜。8月になって、親友も出来たので、恋をしてドキドキしたくなってきたので、ただいま募集中。

優菜のことが好きな人はすぐ近くにいるのに気付かない！？

冒険もたまにあり！？

キーワードは沢山なので、探してみたらいかが？

第1章 人物紹介（前書き）

特に題名は気にしなくてOKです。

本文に注目してください！！

第1章 人物紹介

人物紹介

今は8月。真夏です。澤島では、みいゝんな海水浴。優菜は誰と行く？

嵯那許 優菜（ゆな）・・・6月から『南野澤島小学校』に引っ越してきた。ボーイッシュで、女子より男子といえる方が多い。でも、顔は、とても可愛らしい。小学5年生。好きな人はいない。主人公。

矢華彌 桜子（さくら）・・・澤島で生まれただいま育ち中。可愛いものが大好き。おまけに学校一の美少女。その為、学校中の女子から嫌われている。そんな中引っ越してきた優菜の、1番最初に出来た友達。そして親友。好きな人は大地。

馬寡那賀 正（しょう）・・・小学1年生で澤島に引っ越してきた。真面目で、頭がいい。顔はまあまあなのに、尋常じゃないくらいモテる。スポーツマン。今まで、20数人に告白されたが、優菜に一目惚れした。今は、必死にアタック中。

榎ノ故 大地（はじめ）・・・桜子の幼なじみ。真面目で、頭が良くて、イケメンで、スポーツマン。つまり、完璧少年。今までで、○百人にも告白されている。

桜子が好きだが、桜子は自分のことなんて好きじゃない。と諦めかけている。

みなみのさわしましょうがっこう

【南野澤島小学校】

澤島城の南側にある為、南野澤島小学校となった。
澤島の中では、1番規模が大きく、児童も一番多い。

第2章一転校生がやって来た！（？）（前書き）

これから多分（多分って・・・）優菜の心境（心境って言うのか・
・・）を「」（カギかっこ）以外に書きますが、今回は正の心境
（？）を書きます。

第2章一転校生がやって来た！(？)

うーん……。今日は隣に机と椅子がある……。いつもは、俺一人なのに……。なぜだ？

そんなことを考えてる時、先生が

「みなさん、今日は転校生がいますので、紹介します。」

そういうことか。女子かな。

「嵯那許さん！きてください。」

嵯那許？変わった名前だな。ま、俺も馬寡那賀って変わってるけどな。

「はい……。」

入ってきた。その時俺はドキツとした。えっ、なんでかって？それは……。一目惚れってやつか？

「自己紹介をお願いします。」

「えー、嵯那許 優菜です。これからこの学校でがんばるので、よろしくお願いします。」

声も可愛い……。

「嵯那許さんは、えーと、馬寡那賀 正君の隣の席に座ってください。」

「はい。」

「嵯那許優菜です。『ゆな』って呼んで下さい。」

「お、おう！俺は正^{ただし}って呼んでな！」

「はい。」

ゆな（早速な）は、緊張気味だった。だけど、そんな姿もとても可愛かった。（俺っておかしいか？）

これからゆなと頑張っていこうと思う。（なにが？）
応援してな！

あと、恋の方もよろしくな。

第3章 女子の初めての友達

―放課後 帰り道―

「あなた、嵯那許さんね？」

とても美少女で、大人っぽかった。おまけにクールで完璧な少女。
「はい。」

「私、『矢華彌桜子』みんなからは『サクラ』って呼ばれてるわ。
本題に入るわね。えっと、私の友達になつてくれないかしら？」
友達……。案外はつきり言うんだ

「いいですよ、あたしは『ゆな』って呼んで下さい。あと、条件があります」

「条件？」

とても驚いていた。

「敬語は使わないで下さい！タメで！」

「あら、それだけでいいの？」

「あと、”あら？とか”かしら？？とかもやめて下さい。正直言つてキモイです」

「キモイ……。初めて言われた……」

傷つけちゃったかな……。

「あなた」

キモッ。

「”あなた？もダメ！」

「つまらないわねえ……。あ！つまらないねえ……」

笑える！ちゃんと直した！！

「正直でいいね」

「そうかな？？」

「いえ^{うん}s。あと、私も条件つけていいかな？」

「いいよ」

「親友になつて！」

「親友？」

「いえ」

「分かった！！！！！！親友にナ口っ！」

こうしてあたし達は友達、いや、親友になった。

第3章一女子の初めての友達（後書き）

次話は、残りの男子2人（正、大地）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5890/>

私に恋は、出来ますか？

2010年10月9日22時14分発行